

# 令和7年度(年間) SNSを利用した教育相談の結果について

岐阜県教育委員会  
学校安全課

県教育委員会では、生徒からのいじめ等の相談に加え、様々な悩みを抱える生徒の心のケアを図るために、SNSを活用した相談を行う「中高生SNS相談@岐阜2025」を開設しました。年間の相談結果をお知らせします。

- 1 開設期間 I期：令和7年5月5日(月)～令和7年5月14日(水)まで10日間  
II期：令和7年8月21日(木)～令和7年9月3日(水)まで14日間  
III期：令和8年1月5日(月)～令和8年1月14日(水)まで10日間  
IV期：令和8年3月22日(日)～令和8年3月31日(火)まで10日間
- 2 受付時間 上記開設期間の午後5時～午後10時まで
- 3 対象者 県内の中学生・高校生段階の生徒本人(約12万人)
- 4 活用ツール LINE
- 5 事業の結果

## (1) 相談件数等

	I期	II期	III期	IV期
相談期間	R7.5.5～ R7.5.14	R7.8.21～ R7.9.3	R8.1.5～ R8.1.14	R8.3.22～ R8.3.31
相談日数	10日	14日	10日	10日
周知対象者	約12万人	約12万人	約12万人	約12万人
うち登録者数累計	79人	194人	230人	267人
総アクセス件数 (実人数)	11件 (7人)	50件 (21人)	19件 (17人)	17件 (9人)
対応件数 (実人数)	10件 (7人)	50件 (21人)	19件 (17人)	14件 (9人)

## <参考：令和6年度>

	I期	II期	III期	IV期
相談期間	R6.5.5～ R6.5.14	R6.8.21～ R6.9.3	R7.1.5～ R7.1.14	R7.3.22～ R7.3.31
相談日数	10日	14日	10日	10日
周知対象者	約12万人	約12万人	約12万人	約12万人
うち登録者数累計	111人	283人	322人	355人
総アクセス件数 (実人数)	69件 (32人)	105件 (33人)	54件 (17人)	30件 (12人)
対応件数 (実人数)	49件 (32人)	45件 (33人)	30件 (17人)	23件 (12人)

## (2) 校種別相談対応数

	I 期	II 期	III 期	IV 期
中学生	0	21	7	7
高校生	6	24	7	4
特別支援学校（中学部）	0	0	0	0
特別支援学校（高等部）	0	0	0	0
不明等	4	5	5	3
合計	10	50	19	14

## (3) 相談内容

主訴	I 期	II 期	III 期	IV 期
不登校に関する事	0	0	1	0
いじめに関する事	0	0	0	0
暴力行為	0	0	0	0
児童虐待に関する事	0	1	0	0
性的な被害に関わる案件	0	0	0	0
友人関係に関する事	1	4	4	5
貧困の問題	0	0	0	0
ヤングケアラー	0	0	0	0
非行・不良行為	0	0	0	0
家庭環境に関する事	0	1	0	0
教職員との関係	1	2	0	1
心身の健康・保健に関する事	2	13	3	4
性的マイノリティ	0	0	0	0
学業・進路に関する事	3	0	4	0
発達障がい等	0	0	0	0
生命等に係る緊急案件	0	0	0	0
恋愛に関する悩み	0	0	0	0
その他	1	3	1	0
いたづら・ひやかし	0	0	0	0
無応答・ブロック	2	26	6	4
合計	10	50	19	14

(4) 相談時間別相談数

対応時間	I期	II期	III期	IV期
1分未満	0	0	1	0
1～10分未満	0	2	0	0
10～30分未満	4	24	9	7
30～60分未満	2	11	6	3
60～90分未満	4	6	1	3
90～120分未満	0	3	2	1
120～180分未満	0	4	0	0
180分以上	0	0	0	0
合計	10	50	19	14

(5) 相談時間帯別相談数

相談時間帯	I期	II期	III期	IV期
17時台	3	20	11	5
18時台	1	11	4	3
19時台	0	9	1	3
20時台	1	6	3	0
21時台	5	4	0	3
合計	10	50	19	14

6 成果と課題

- ・昨年度の同時期の相談件数と比較すると、今年度の第I期は相談が少なかった。内容としては、「学業・進路」に関する相談が多かった。
- ・I期の相談者は、「高校生」が多かった。
- ・II期の相談内容は、「心身の健康・保健に関すること」が多かった。相談者は中学生21人、高校生24人で高校生の相談が若干多かった。
- ・III期の相談内容は、「友人関係に関すること」と「学業・進路に関すること」が多かった。相談者は中学生7人、高校生7人で、中学生、高校生の相談人数に差はなかった。
- ・IV期の相談内容は、「友人関係に関すること」、「心身の健康・保健に関すること」の順に多かった。相談者は中学生7人、高校生4人でIV期は中学生の相談が多かった。
- ・相談期間を通して、それぞれの環境下における生徒たちの不安や悩みに寄り添うことができた。